

BACCALAURÉAT TECHNOLOGIQUE

SESSION 2015

JAPONAIS

LANGUE VIVANTE 1

Séries **STI2D, STD2A, STL, ST2S** – Durée de l'épreuve : 2 heures – coefficient 2

Série **STMG** – Durée de l'épreuve : 2 heures – coefficient 3

L'usage des dictionnaires et des calculatrices électroniques est interdit.

Dès que ce sujet vous est remis, assurez-vous qu'il est complet.
Ce sujet comporte 4 pages numérotées de 1/4 à 4/4.

Répartition des points

Compréhension de l'écrit	10 points
Expression écrite	10 points

Notion : L'idée du progrès

宇宙飛行士¹とロボット

テキスト 1 :

日本人で初めて国際宇宙ステーション (ISS) の船長となった若田光一さん (50) を乗せたロシアの宇宙船ソユーズが日本時間 14 日午前 10 時 58 分ごろ、中央アジア・カザフスタンの草原地帯²に無事に帰った。宇宙での滞在は 188 日となり、飛行時間の長さでは日本人最長を記録した。ソユーズから出て抱えられながらイスに座った若田さんは、
5 笑顔^{えがお}で手を振り、迎えた救援部隊^{きゅうえんぶたい}に「ありがとう」と話した。

若田さんが乗るソユーズのパラシュートは午前 10 時 44 分ごろ、着陸予定場所の草原地帯^{ちたい}の上空に現れた。

着陸後、カプセルから出た若田さんは、用意されたイスに座った後、健康状態^{じょうたい}のチェックを受けながら、ペットボトルに入った水を飲んだり、携帯電話^{けいたい}でにこやかに話したり
10 した。

若田さんは医師による検査や診断を受けた後、報道陣^{ほうどうじん}の質問に「今日はゆっくり眠りたい、休みたい」、「地球は何者にも替えられないふるさとだということを実感した」などと話した。両脇^{りょうわき}をスタッフに抱えられていたが、若田さんは自分の足でしっかりと歩いていた。

「朝日新聞 DIGITAL」 (2014年5月14日) より

¹ 宇宙飛行士 : astronaute

² 草原地帯 : plaine, steppe

³ 救援部隊 : équipe de secours

⁴ 報道陣 : médias

⁵ 両脇 : deux bras

テキスト2:

15 去年、国際宇宙ステーションに、宇宙飛行士⁶の若田光一さんと会話の実験を行っていたロボットがありました。そのロボットが若田さんが地球に帰るので、別れのあいさつをしていました。その様子が映像で公開されました。

この人の形をしたロボットは宇宙飛行士の話し相手になるように、国内の企業などが共同で開発したものです。去年の8月日本の宇宙輸送船「こうのとり」が国際宇宙ステーションに運んだのです。ロボットは去年12月に若田さんとの会話の実験に成功しました。

20 そして、若田さんが地球に帰るので、別れのあいさつをしている映像を公開したのです。

若田さんが「何がいちばんの思い出かな」と日本語で話しかけると、ロボットは「若田さんといろんな話ができたと」と答えている様子などが映されました。

25 また、若田さんが「一緒に地球に帰れなくてごめんね」と、語りかけると、ロボットは「大丈夫だよ。僕が乗ると定員⁷オーバーになっちゃうし」などと答えていました。

ロボットは若田さんが帰った後も宇宙ステーションにとどまりますが、今年の年末には、宇宙輸送船に寄せられ、地球に戻る予定だそうです。

NHK「かぶん」ブログ（2014年5月14日）より

テキスト3:

「コミュニケーションができるロボットと暮らす未来へ」

このロボットは、ある使命⁸をもっています。

「単身化⁹社会」での孤独化¹⁰の問題を解決するというものです。

30 現在、高齢者だけでなく、生き方の多様化にともない、あらゆる世代で独りで暮らす人々が増えています。

ロボットと人間との新しい関係で、この問題を解決したいものです。

目標⁹を掲げて、プロジェクトをすすめています。

きぼうロボットプロジェクトサイト内「KIBO ROBOT PROJECT」についてより

⁶ 宇宙飛行士 : astronaute

⁷ 定員 : nombre fixe de personnes

⁸ 使命 : mission

⁹ 単身化 : (ici) individualiste

¹⁰ 孤独化 : isolement

TRAVAIL À FAIRE PAR LE CANDIDAT

I. COMPRÉHENSION DE L'ÉCRIT

1) Les candidats traiteront le sujet sur la copie qui leur sera fournie en faisant apparaître la numérotation.

2) Ils composeront des phrases complètes sauf indication contraire.

3) Les citations seront limitées aux éléments pertinents et suivies de la mention de la ligne.

次の質問に日本語で答えてください。

- 1) 若田^{わかた}さんはどこで何をした後で無事に帰りましたか。
- 2) 若田^{わかた}さんとテキスト2に書かれたロボット^{かんたん}の関係を簡単に説明してください。
- 3) テキスト2に出てくるロボットが開発された理由をテキスト3から書き出してください。
- 4) テキスト1と2に出てくる日付や時間をあらわ^{あらわ}ひょうげん^{ひょうげん}もと^{もと}に、ロボットと若田^{わかた}さんがしたことを順序^{じゅんじょ}立てて^{ひょう}表^{ひょう}にまとめてください。
- 5) 「何^か者にも替えられないふるさと」(12行目)とは何ですか。若田^{わかた}さんは、どうして地球^{ちきゅう}のことをこのように表現^{ひょうげん}したと思いますか。
- 6) テキスト2に、ロボットが「僕^{ぼく}が来ると定員オーバーになっちゃうし」(25行目)と言ったと書かれています。ロボットはどうしてこう言ったと思いますか。

II. EXPRESSION DE L'ÉCRIT

Traitez les deux sujets suivants en 300 signes environ. Vous indiquerez distinctement sur votre copie le numéro du sujet.

- 1) ロボットは、テキスト3にあるように「単身化^{たんしんか}社会での孤独化^{こどくか}の問題を解決^{かいけつ}」することができると思いますか。例をあげてあなたの意見を述べてください。(150 signes)
- 2) どのような社会問題^{かいけつ}を解決するために、どのようなロボットを開発したらいいと思いますか。(150 signes)

¹¹ 順序立てて : dans l'ordre chronologique